

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)
信託期間	2020年7月28日から2025年7月28日まで
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国（IMF（国際通貨基金）が定義する先進国・地域に準拠します。）の転換社債を主な投資対象とします。残存期間の短い債券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。
組入制限	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時（毎年7月26日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

シュロダー先進国好利回り CBファンド2020-07 (限定追加型)

第3期 運用報告書(全体版)

(決算日 2023年7月26日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュロダー先進国好利回りCBファンド2020-07（限定追加型）」は、2023年7月26日に第3期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュロダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純資産額
		税金 分	配 金		
(設定日)	円		円	%	百万円
2020年7月28日	10,000		—	—	16,701
1期(2021年7月26日)	11,489		0	14.9	18,097
2期(2022年7月26日)	11,220		0	△2.3	10,567
3期(2023年7月26日)	11,313		0	0.8	9,076

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
 (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
 (注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。
 (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率
		騰 落	率	
(期首)	円		%	%
2022年7月26日	11,220		—	97.3
7月末	11,227		0.1	96.3
8月末	11,222		0.0	97.6
9月末	11,085		△1.2	99.9
10月末	11,089		△1.2	101.5
11月末	11,134		△0.8	95.5
12月末	11,180		△0.4	94.1
2023年1月末	11,307		0.8	91.8
2月末	11,231		0.1	100.0
3月末	11,123		△0.9	99.7
4月末	11,160		△0.5	99.9
5月末	11,100		△1.1	99.0
6月末	11,209		△0.1	101.3
(期末)				
2023年7月26日	11,313		0.8	99.0

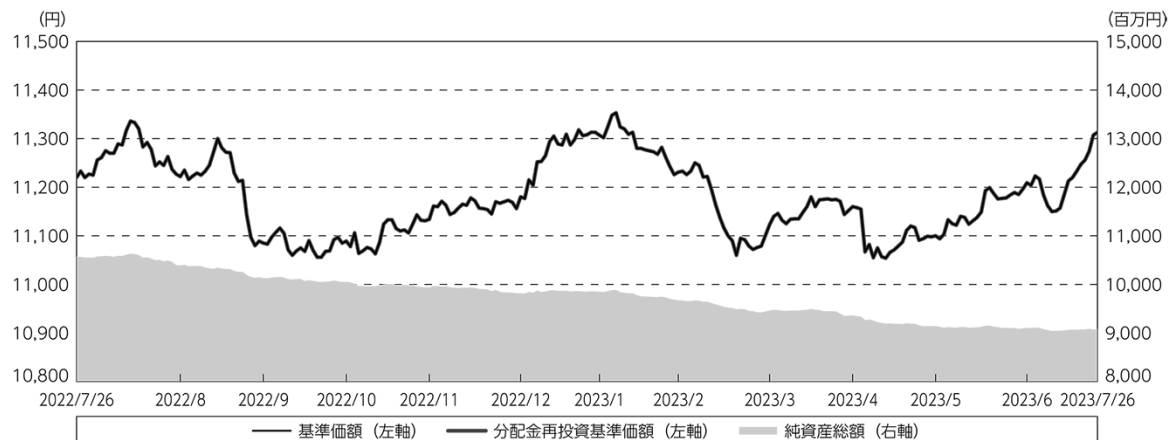
- (注) 基準価額は1万円当たり。
 (注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2022年7月27日～2023年7月26日)

期中の基準価額等の推移



期首：11,220円

期末：11,313円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 0.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年7月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首11,220円でスタートした基準価額は、11,313円(分配後)で期末を迎え、期首比0.8%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の下落局面において、株式市場に対する下値抵抗力を欠いた局面もありましたが、株式市場の上昇局面において、CB市場は概ね株式市場に対する追従力を発揮し、期を通しでは堅調な動きとなりました。

投資環境

当期、2022年10月にかけて主要国の株式市場は下落しました。グローバルのインフレ圧力が高まり、中央銀行の金融政策に対する警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、収束の見えないロシアによるウクライナ侵攻や、中国の厳格なゼロコロナ政策や不動産セクターに対する懸念を背景に軟調な推移となりました。10月に入るとインフレ期待率についてやや低下が見られたことで再び株式市場は上昇に転じ、堅調な推移となりましたが12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長が改めてタカ派姿勢を示し、利上げが継続するとの観測に嫌気し下落しました。このような中で米国の銀行の経営危機によりリスク回避姿勢が高まったものの、金融当局の迅速な対応により、金融システムへの懸念が和らぎ上昇に転じました。2023年5月以降は人工知能（AI）の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心に上昇基調となり、期を通しては上昇となりました。同期間におけるCB市場は、一般消費財、テクノロジーセクターが堅調な動きとなり、上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略としつつ、CB市場の非効率性を捕え、割安な銘柄に対する投資を実施しました。セクター別では、金融、テクノロジーの組入比率を高位としています。国別では、米国、フランス、オーストラリアを高位としています。また、格付け別ではBBB格、BB格のCBを中心に保有しています。

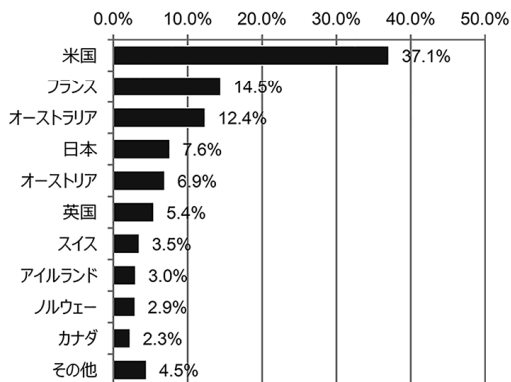
（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

作成基準日：2023年6月30日

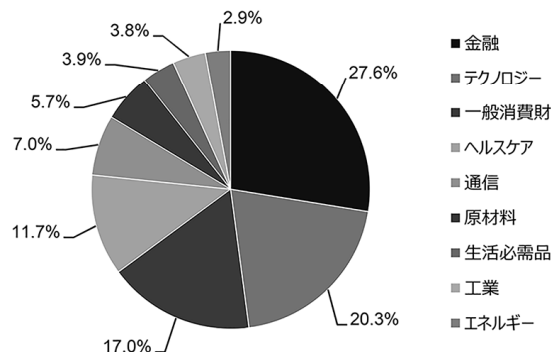
■ 資産構成比率

内訳	比率
転換社債 (CB)	101.3%
国債	0.0%
キャッシュ等	-1.3%
合計	100.0%

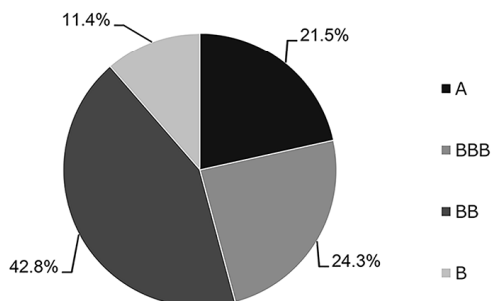
■ 国・地域別組入比率



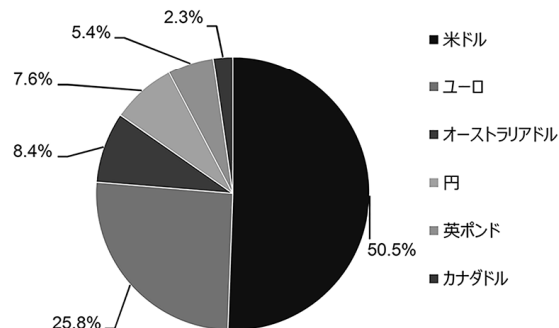
■ 業種別組入比率



■ 格付別組入比率



■ 通貨別組入比率



出所：シュローダー・グループおよびBloomberg Finance L.P.のデータを基にシュローダー・インベストメント・マネジメント作成。

※ 国・地域は発行体のブルームバーグによるカントリーリスク対象国に基づいて記載。業種は組入資産のブルームバーグ業種(BICSレベル1セクター)に基づいて記載。

※ 資産構成の組入比率は、純資産総額比です。

※ 通貨別、格付別、国・地域別、業種別組入比率は、組入証券部分を100%とした場合の比率です。

※ 組入比率グラフについては、四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2022年7月27日～ 2023年7月26日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,712

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

グローバルでインフレ率は低下しているものの、そのスピードは落ちていきます。ロシア・ウクライナ問題を背景としたエネルギー価格の大幅上昇によるベース効果は剥落しつつあり、食料品やサービスなどのコア・インフレは予想以上に堅調な推移となっています。米国や欧州各国では政策金利を引き上げており、経済成長の深刻な悪化が見られなければ、短期的な金利の低下は見込めないと考えます。米国では学生ローンの返済義務が3年間の執行停止期間を終えて再び発効することとなり、米国国民の支出パターンに影響を及ぼします。今後も高金利は続くと考えます。金利の上昇は消費者、企業、政府のコスト構造をゆっくりと侵食しつつあります。中央銀行が流動性対策を行う一方で、銀行は融資基準を厳格化し、金利を引き上げています。ハイイールド債券市場は金融危機以降、5倍に拡大しましたが、現状、多くの借換えが控えており、その借換えはさらに高い金利水準で、信用条件もかなり厳しくなっています。一方でCBは流動性のない局面においても常に開かれた市場であり、このような中、CBにとって好機が到来すると予想されます。しかしながら、CBは予想される景気後退局面における株式下落時に対する防御性を提供する必要があります。運用チームは長期的な市場見通しに対して引き続き防御的かつよりネガティブな姿勢を維持しており、今後さらにボラティリティ(変動性)が高まるとみています。このような中、全天候型商品といえるCBにはより防御的な資産クラスとしての投資妙味があると考えます。最近、大手IT企業による社債の発行が急増しており、特に長期債の取引が活発となっていますが、これら銘柄が下落しても、これらの企業においてCBの発行は行われておらずCBのユニバースに影響を及ぼす可能性は軽微といえます。引き続きCBは依然売られ過ぎの状況にあると考えます。今後もグローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 7 月 27 日～2023年 7 月 26 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	108	0.968	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(61)	(0.550)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(販 売 会 社)	(43)	(0.385)	
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	
(b) そ の 他 費 用	6	0.053	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	<ul style="list-style-type: none"> ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI: Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
(監 査 費 用)	(2)	(0.019)	
(印 刷 費 用)	(2)	(0.021)	
(そ の 他)	(0)	(0.001)	
合 計	114	1.021	
期中の平均基準価額は、11,172円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

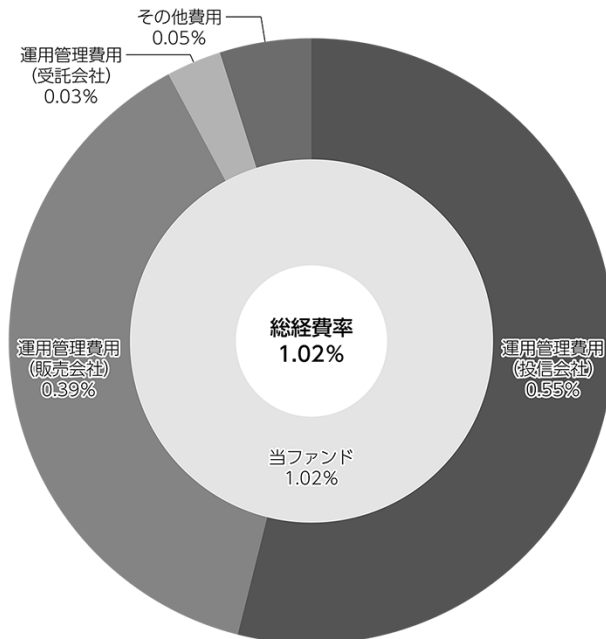
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券 (投資証券等を含む) が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.02%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月27日～2023年7月26日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		—	—	50,000	49,275
外	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		5,000	4,692	5,300 (10,600)	4,815 (10,644)
国	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	1,000	884	—	—
	フランス	1,719	1,562	—	—
	オランダ	800	773	—	—
	スペイン	—	—	—	—
	オーストリア	—	—	(5,200)	(5,200)
	その他	700	645	800	560
				1,600	1,876

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月27日～2023年7月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年7月26日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘 柄		当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
ANA 0% 24/09/19		350,000	350,000
HIS CO LTD 0% 24/11/15		400,000	357,800
合 計	額 面 金 額	750,000	707,800
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	< 7.8% >

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債 (転換社債)

銘 柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
CIE GENERALE 0% CB	2,000	1,967	277,570
DISH NETWORK 2.375% CB	3,000	2,767	390,543
GLENCORE FUNDING 0% CB	2,400	2,627	370,756
ELM BV 3.25% CB	2,000	2,327	328,445
JAZZ INVEST 1.5% CB	2,000	1,924	271,566
ARES CAPITAL 4.625% CB	500	508	71,789
VISHAY INTER 2.25% CB	1,750	1,882	265,611
WESTERN DIGITAL 1.5% CB	4,250	4,167	588,023
Liberty Media 2.75% CB	1,500	1,362	192,211
BW OFFSHORE 2.5% CB	2,000	1,874	264,538
PROSPECT CAP 6.375% CB	4,000	4,021	567,443
NEW MOUNTAIN 5.75% CB	1,500	1,500	211,770
KAMAN CORPO 3.25% CB	1,000	966	136,382
IONIS PHARMACE 0.125% CB	500	465	65,660
LIVE NATION ENTER 2% CB	500	547	77,293
NUVASIVE INC 0.375% CB	3,500	3,181	448,941
小 計	額 面 金 額	32,400	32,092
	銘 柄 数 < 比 率 >	16	—
(カナダ)	千カナダドル	千カナダドル	千円
PREMIUM BRANDS 4.65% CB	2,000	1,940	207,521
小 計	額 面 金 額	2,000	1,940
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
HELLOFRESH SE 0.75% CB	1,000	929	144,892
小 計	額 面 金 額	1,000	929
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
ELIS SA CONV 0% CB	637	633	98,735
Nexity SA 0.25% CB	2,067	1,813	282,616
AIR FRANCE 0.125% CB	2,688	2,600	405,222
UBISOFT ENTER 0% CB	1,719	1,619	252,374
小 計	額 面 金 額	7,111	6,666
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	—

シュロージャー先進国好利回りCBファンド2020-07 (限定追加型)

銘柄		当 期 末		
		額面金額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
COSMO PHARMA 2.5% CB		1,800	1,761	274,551
小 計	額 面 ・ 金 額	1,800	1,761	274,551
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<3.0%>
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
AMS-OSRAM AG 0% CB		5,200	3,866	602,577
小 計	額 面 ・ 金 額	5,200	3,866	602,577
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<6.6%>
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円
GN STORE NORD 0% CB		700	672	104,767
POSCO 0% CB		400	581	90,620
小 計	額 面 ・ 金 額	1,100	1,253	195,387
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<2.2%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	16,211	14,478	2,256,358
	銘 柄 数 < 比 率 >	9	—	<24.9%>
(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド	千円
DERWENT LONDON 1.5% CB		3,000	2,728	495,992
小 計	額 面 ・ 金 額	3,000	2,728	495,992
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<5.5%>
(オーストラリア)		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円
WASHINGTON H 0.625% CB		2,000	2,009	192,170
SEVEN GROUP HLDG2.2% CB		2,000	2,319	221,815
DEXUS Finance 2.3% CB		4,000	3,885	371,580
小 計	額 面 ・ 金 額	8,000	8,213	785,566
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	—	<8.7%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	8,273,989
	銘 柄 数 < 比 率 >	30	—	<91.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年7月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	8,981,789	96.7
コール・ローン等、その他	302,450	3.3
投資信託財産総額	9,284,239	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(8,369,250千円)の投資信託財産総額(9,284,239千円)に対する比率は90.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=141.11円、1カナダドル=106.97円、1ユーロ=155.84円、1英ポンド=181.79円、1オーストラリアドル=95.64円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月26日現在)

項目	当期末	円
(A) 資産	17,684,007,420	
コール・ローン等	257,349,169	
公社債(評価額)	8,981,789,135	
未収入金	8,399,767,577	
未収利息	44,569,437	
前払費用	532,102	
(B) 負債	8,607,564,981	
未払金	8,518,287,702	
未払解約金	42,808,541	
未払信託報酬	45,051,967	
その他未払費用	1,416,771	
(C) 純資産総額(A-B)	9,076,442,439	
元本	8,023,076,965	
次期繰越損益金	1,053,365,474	
(D) 受益権総口数	8,023,076,965口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,313円	

[元本増減]

期首元本額	9,418,708,574円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	1,395,631,609円

(注) 当ファンドの運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに有価証券等の運用の指図に関する権限を委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

○損益の状況 (2022年7月27日～2023年7月26日)

項目	当期	円
(A) 配当等収益	175,998,740	
受取配当金	816,665	
受取利息	168,283,646	
その他収益金	7,156,574	
支払利息	△ 258,145	
(B) 有価証券売買損益	△ 8,424,165	
売買益	2,183,795,344	
売買損	△2,192,219,509	
(C) 信託報酬等	△ 99,654,903	
(D) 当期損益金(A+B+C)	67,919,672	
(E) 前期繰越損益金	978,662,619	
(F) 追加信託差損益金(配当等相当額)	6,783,183	
(売買損益相当額)	(65,974)	
(売買損益相当額)	(6,717,209)	
(G) 計(D+E+F)	1,053,365,474	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	1,053,365,474	
追加信託差損益金(配当等相当額)	6,783,183	
(配当等相当額)	(65,974)	
(売買損益相当額)	(6,717,209)	
分配準備積立金	1,374,019,299	
繰越損益金	△ 327,437,008	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(76,343,837円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(65,974円)および分配準備積立金(1,297,675,462円)より分配対象収益は1,374,085,273円(10,000口当たり1,712円)ですが、当期に分配した金額はありません。